一言会 墨田区まちづくり認定団体に申請！

昨年、墨田区が新しく条例を定めて、募集を開始した「まちづくり団体」に、１０月、一言会が認定申請をしました。

防災まちづくりに関して20年の歴史をふまえ、防災活動の先駆けとしての実績で、全国のまちづくり団体との連携を深め、新たな活動を展開しようとするものです。

区役所窓口の情報では、わが一言会は申請団体第１号とのことです。

「建物健康診断」のご案内

「地震の被害もこわいけれど、悪質リフォーム業者もこわい」。このようなお悩みの方に最適なお知らせです。この相談会では、耐震や老朽化、用途の変更に対応して、建物の健康診断をおこないます。見取り図が書けなても、建築の学生さん達が、お宅にうかがい、見取り図や写真等を用意して、そのデータをもとに補強、建て替え、模様替え等の相談を無料でおこないます。

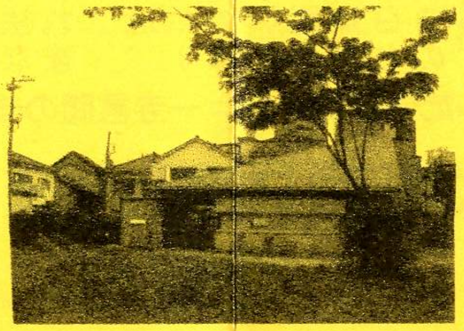
◎受付日　１１月１３日（日）
午前１１時～午後３時
・受付会場　一寺言問集会所（東向島1-20）
（上記以外はFAX受付。名前・住所・電話を明記し、５７３４-３１９１へ送ってください。後日、調査の日程等を連絡します。）
◎相談日　１１月１９日(土)・２０日(日)
午前１０時～午後３時
・相談会場　一寺言問集会所
○協力　建築士事務所協会
○主催　一寺言問を防災のまちにする会

一言会まちづくりの「足跡マップ」制作中

一言会が発足してからの２０年間に私たちのまちが、どのように変わってきたのか？　一寺言問地区の豊かな歴史的な資源とともに、皆さんと　一緒に創り上げてきた、まちづくり活動の足跡を整理した地図を制作中です。楽しみにお待ちください。

祝 「一言会」２０周年！

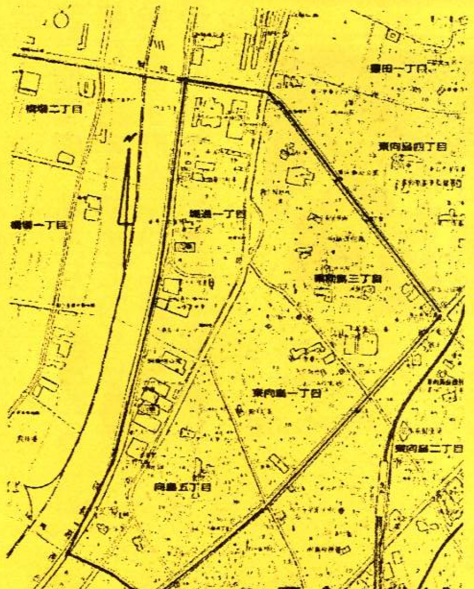
昭和六十年に東京都の「防災生活圏モデル事業」の指定を契機に歩みをはじめた、「一寺言問を防災のまちにする会（通称　一言会）」の活動が、今年で二十周年の節目を迎えました。



長い時間をかけて作られた一寺言問集会所

「一言会」では、都内でも指折りの災害に弱いまちといわれる私たちのまちの防災問題を、地元住民の創意で考え、まちの明日を担う子どもたちに、この町を「災害があっても、逃げずにすむまち、死なずにすむまち」として残していこうと活動を進めています。この瓦版をはじめ、路地尊など、活動は全国的にも多くの評価をいただき、これまで、日本建築学会より「文化賞」や第一回防災まちづくり大賞で「自治大臣賞」をいただきました。

一言会では、地域内にお住まいの、すべての皆さんが会員と考えて活動を進めています。燃えにくい建物に建替えて道を広げてくださった皆さん、草花でまちの潤いを創ってくださる皆さん、そして、いつもご近所に挨拶をかわしている皆さん、皆さんのお気持ちこそが「防災まちづくり」活動といえます。一言会の活動もこのようなお気持ちのおかげで続けることができました。ありがとうございます。



一言会の地域

二十周年を迎え、十一月十三日（日）の午後二時から、一寺言問集会所を会場に記念式典が開催されます。また、左記のような記念事業を準備中です。

中学生に大きな期待

新しい「まちの防災パワー」

本紙「まちかどニュース」欄には、地域の防災活動に参加した中学生（墨中生ほか）が載っています。区立鐘淵中学には、「火消し隊」というユニークな活動があります。

都会は、社会に素っ気ない若者だらけです。少子高齢化の今、私たちの下町で、防災に向けてこの若い力が台頭していることは喜ばしい限りです。

災害の時、消防や自衛隊の救援の前に、身近なご近所パワーは、

何より、人命救助活動
次に、支援組織との連絡
そして、地区の情報収集
更に、家族や知人との連絡などで活躍できます。この時、地域の地理に明るく、身軽に活動できて、しかも顔見知りの中学生、高校生の存在は、極めて心強いではありませんか。

私たちも、かつては若い力でした。誰に言われるでもなく、下町の住民は自然とお互いに手を差し伸べます。現代の若者たちも、この逞しく優しい伝統の中で育ちつつあるのです。

いつの時代でも、その若い力が常に地域を、国を支えて行くのでしょう。

No. 52

一寺言問

安心とうるおいの下町「川の手」をめざして

防災まちづくり瓦版

発行／一寺言問を防災のまちにする会

平成17年11月1日

いちてらこととい
一寺言問／防災まちづくり瓦版

編　集／一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発　行／一寺言問を防災のまちにする会
代表　青木　隆雄
連絡先／墨田区都市整[illegible]担当地域整備課
〒130-8640　墨田区吾妻橋1-23-20　TEL(5608)6261

一言集会所の展示室　活用のご案内

一言会の提案で建設された一寺言問集会所には、展示室と呼ばれる小部屋があります。入口の右側、横長の窓が広がっている部屋です。

この部屋は、一言会の会合や資料の収納、展示に利用されるとともに、地域の活性化につながる、小グループの会合などにも利用できます。

いくつかの約束事はありますが、ご利用になりたい方は、町会長さんにご相談ください。

花壇をお世話いただく　皆さんのご紹介

昨年末、瓦版の募集に応募していただき、今年の４月から、一寺言問集会所前の花壇をお世話いただいているのは下記の皆さんです。

夏にはきれいな花がたくさん咲きました。これからもよろしくお願いいたします。

・下山　智代さん
・中川　倭子さん

有季園でヤスデ騒動

６月中旬、一言会が管理運営している防災小菜園・向島有季園（向島５）で、ヤスデ〔虫〕が大発生してしまいました。

雑草処理の不備に、長雨と高温が原因でしたが、近隣の皆様には大変ご迷惑をおかけして、申し訳ございませんでした。

以後、このようなことのないよう、管理には細心の注意を払ってまいります。

雨水を活かしたまちづくり＝一寺言問のまちづくり

「雨水東京国際会議」開催される！

八月一日から六日まで、墨田区役所や環境ふれあい館を会場とし、「つなごう世界、救おうアジアの水危機」をテーマに「雨水東京国際会議」開催されました。

期間中多くのパネル展示や体験コーナが設けられ雨水の大切さや利用方法などが紹介されました。

三日からは、区役所一階ホールで、区内の様々な名菓をいただきながら雨水を使った野点が開かれ、五日と六日は、八つの分科会に分かれ、熱心な研究がおこなわれました。

分科会の中で、「安全な飲み水としての雨水」分科会では、一言会理事の徳永さんが、一言会の歴史と、非常用の飲み水として開発された路地尊の紹介を、「雨の環境学習～雨に学ぼう！」分科会では、理事の佐原さんが、生まれたときから路地尊があったまちで育った子どもたちのアンケート調査結果を紹介しました。

また期間中、私たちのまちから生まれ、日本で初めてつくられた街角の雨水貯留施設「路地尊」へも多くの参加者が見学に立ち寄りました。

徳永さんは雨水を使ったバングラディッシュの飲み水援助にも協力しています。
環境ふれあい館内のバングラハウスで

「路地尊」は、「被災時には、ご近所との助け合いが何よりの防災だ」と言うことから、「路地」がつちかう、下町の人情の良さを大切にしようと名付けられました。そして、被災時の「飲み水の不足」をおぎなうために「路地尊」を雨水貯留施設とし、日々の緑化などにも活用し、非常時の飲料水にしようとしています。皆さん可愛がってあげてくださいね。

有季園利用者募集

あなたも、向島有季園（向島5―35）で、楽しい野菜づくり・花づくりを体験してみませんか。

ご希望の方は、官製はがきに右下の「応募券」を貼り、住所・氏名・電話番号をご記入の上、左記へお申し込みください。応募者多数の場合は、二月に「公開抽選会」を行います。

応募券

【利用期間】
平成十八年三月一日
～平成二十年一月三十一日

【応募条件】
一寺言問地区（堤通一丁目、東向島一・三丁目、向島五丁目）にお住まいの方

【申し込み先】
〒131・0032
墨田区 東向島 一－八－五
一言会々長　青木隆雄

【締め切り】
平成十八年一月三十一日（必着）

※利用者は、次の事項を守ってください
☆二年間、本人が責任を持って利用する
☆年二回開催の利用者会議に出席する
☆園周辺の植生・環境を保持する
☆毎年六月の生け垣剪定に協力する
☆毎年秋の収穫祭に参加する
☆園の近隣居住の方に迷惑をかけない

お問い合わせは　有季園担当理事　阿部
☎3622－0542

まちかどニュース

地域の防災訓練に中学生参加

10月９日、向島五丁目を含む本所北部連合15町会は、隅田公園で連合の防災訓練を実施。中学生も参加し、雨にも負けず地域活動への理解を深めました。

ロープを使ってのロープ結索法の説明

「百花園」からお得な情報

４月から、向島百花園では「年間パスポート」を発行しています。

このパスポートの料金は、一般６００円、６５才以上２８０円で、持参すると、１年間に何回でも百花園に入れるます。

問い合せは入口の管理所へ。

下町っ子の作品　全国２位！

墨中放送部は、ＮＨＫ全国中学生放送コンクールで、ラジオ部門２位（ザッツ音）、テレビ部門５位（東京タワーがやってくる）の栄誉に輝きました。